

英語を楽しく

☆「多分」の単語、possibly / maybe / perhaps / probably のどれを選ぶ？

「私、とても急ぐので多分タクシーに乗るよ。」

を英文にした場合、あなたはどの英文が本気で言っていると思いますか？

- ① I have to hurry, so I'll *possibly* take a taxi.
- ② I have to hurry, so I'll *maybe* take a taxi.
- ③ I have to hurry, so I'll *perhaps* take a taxi.
- ④ I have to hurry, so I'll *probably* take a taxi.

日本語では possibly / maybe / perhaps / probably 4つとも「多分」ですが、英語では 多分の度合い が違うのです。下の□の中を見てください

You will possibly... pass

必合格。



なんつこと言う!

<i>possibly</i>	10中1から3の確率
<i>maybe / perhaps</i>	10中5以下の確率
<i>probably</i>	10中8以上9以下の確率

つまり、*probably* から *probably* 行くほど可能性が高くなるということです。ですから、④の英文が最もタクシーに乗る気持ちが強い文となります。

○ ある受験生の家に夕食を招待された客人が、受験生を励まそうとして、

“You will *possibly* pass the entrance examination.”

と言ったのです。途端に受験生は泣き出した。なぜ？もうおわかりですね。客人は

「入学試験の合格率が10%から30%でしょう。」

と受験生に言ってしまったからです。人を励ますときは *probably* を使いましょう。

“You will *probably* ~ .” とね。そしたら喜ぶますから。

○ *probably* よりもっと強く言うために

I'm sure (that) ~. きつと……する (……ということを確認する)

I'm sure (that) he will marry her this year.

きつと彼は、今年彼女と結婚する。

I'm sure (that) you will pass the entrance examination.

きつと君は入学試験に合格するよ。